

2026年2月27日

IPBES総会第12回会合結果報告会

IPBES総会第12回会合結果概要

環境省自然環境局生物多様性戦略推進室

鈴木 渉

本日のプログラム

開会

(敬称略)

IPBES総会第12回会合結果概要

環境省自然環境局
生物多様性戦略推進室

IPBES総会第12回会合に関する専門家所見

東京大学大学院
農学生命科学研究科
教授 橋本 禪

「生物多様性及び自然の寄与に係るビジネスの影響と依存度に関する
方法論に関する評価（ビジネスと生物多様性アセスメント）報告書」
政策決定者向け要約（SPM）

東京大学大学院
農学生命科学研究科
教授 香坂 玲

IPBESシナリオ・モデルタスクフォース技術支援機関からの情報提供

IPBESシナリオ・モデルタスクフォース
技術支援機関
シニアプログラムマネジメントオフィサー
守分 紀子

質疑応答

生物多様性及び生態系サービスに関する 政府間科学－政策プラットフォーム (IPBES: イプベス)



Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services

組織事項

- 2012年4月設立
- 事務局:ドイツ・ボン
- 加盟国数:153カ国(2026年2月現在)
- 独立した政府間組織(事務局機能はUNEPが提供)



議長

デイヴィッド・オブラ氏
Dr. David Obura



事務局長

ルサンド・ジバ氏
Dr. Luthando Dziba

目的

生物多様性の保全と持続的利用、長期的な人間の福利、
持続的発展のための、生物多様性と生態系サービスに関する
科学-政策インターフェイスの強化

その他

- 環境省によるIPBES信託基金への資金拠出
→2026年20万ドル(3,000万円)
- 2024年6月「ブループラネット賞」受賞

4つの機能

政策立案支援



能力養成



科学的評価



知見生成



成果

★アセスメントの作成

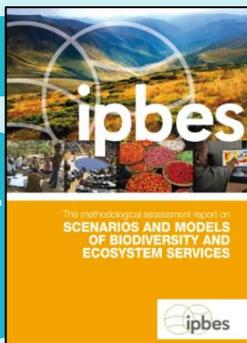


これまでに14本の評価報告書を公表
(2026年現在)

IPBESアセスメント報告書

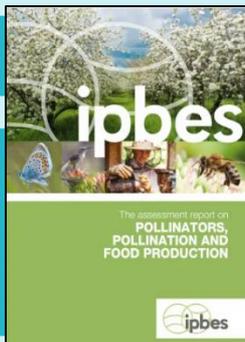
2016

シナリオ
モデル



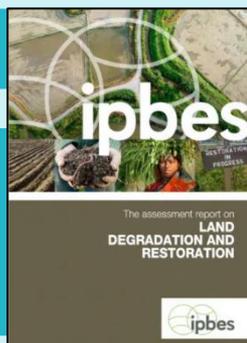
2016

花粉
媒介



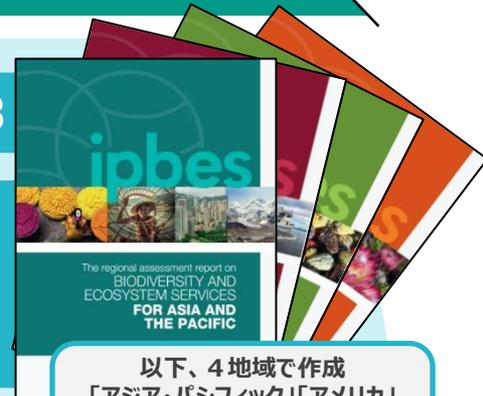
2018

土地
劣化



2018

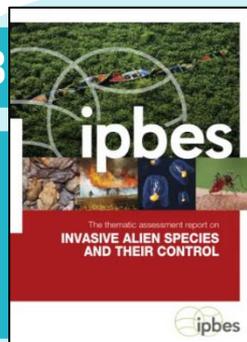
地域



以下、4地域で作成
「アジア・パシフィック」「アメリカ」
「ヨーロッパ中央アジア」「アフリカ」

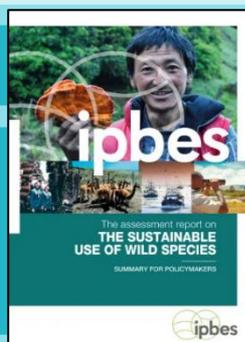
2023

外来種



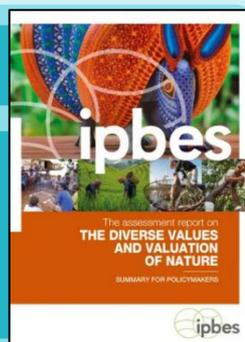
2022

野生種
の利用



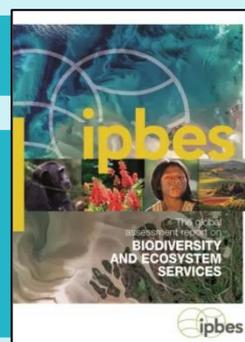
2022

価値



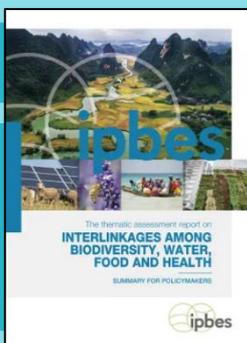
2019

地球
規模
評価



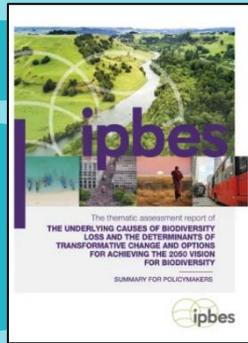
2024

ネク
サス



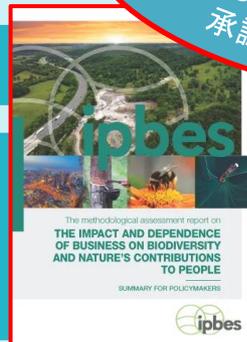
2024

社会
変革



2026

ビジ
ネス



IPBES12にて
承認

IPBES総会第12回会合（IPBES12）の概要

開催要領

- 期間: 令和8年2月3日(火)～8日(日)
- 場所: マンチェスター(英国)
- 参加者:
IPBES 参加各国政府、IPBES 専門家、
UNEPなどの関連国際機関 など



代表団

- 外務省(オンライン)
- 環境省(戦略室及び主流化室、IGES)
- 文部科学省
- 農水省(オンライン)

主な議題

- 「生物多様性及び自然の寄与に係るビジネスの影響と依存度に関する方法論に関する評価(ビジネスと生物多様性アセスメント)」に係る政策決定者向け要約(SPM)の承認
- 学際的有識者パネル(MEP)選出(石原新MEPメンバー選出)
- IPBES の財政及び予算(日本から2026年分拠出をプレッジ)
- IPBES の有効性向上(IPBES ワークプランの中間レビュー等)
- 作業計画への追加要素の検討
- 今後の総会の日時・場所(2027年10月頃、開催地未定)



前MEP
橋本禪教授



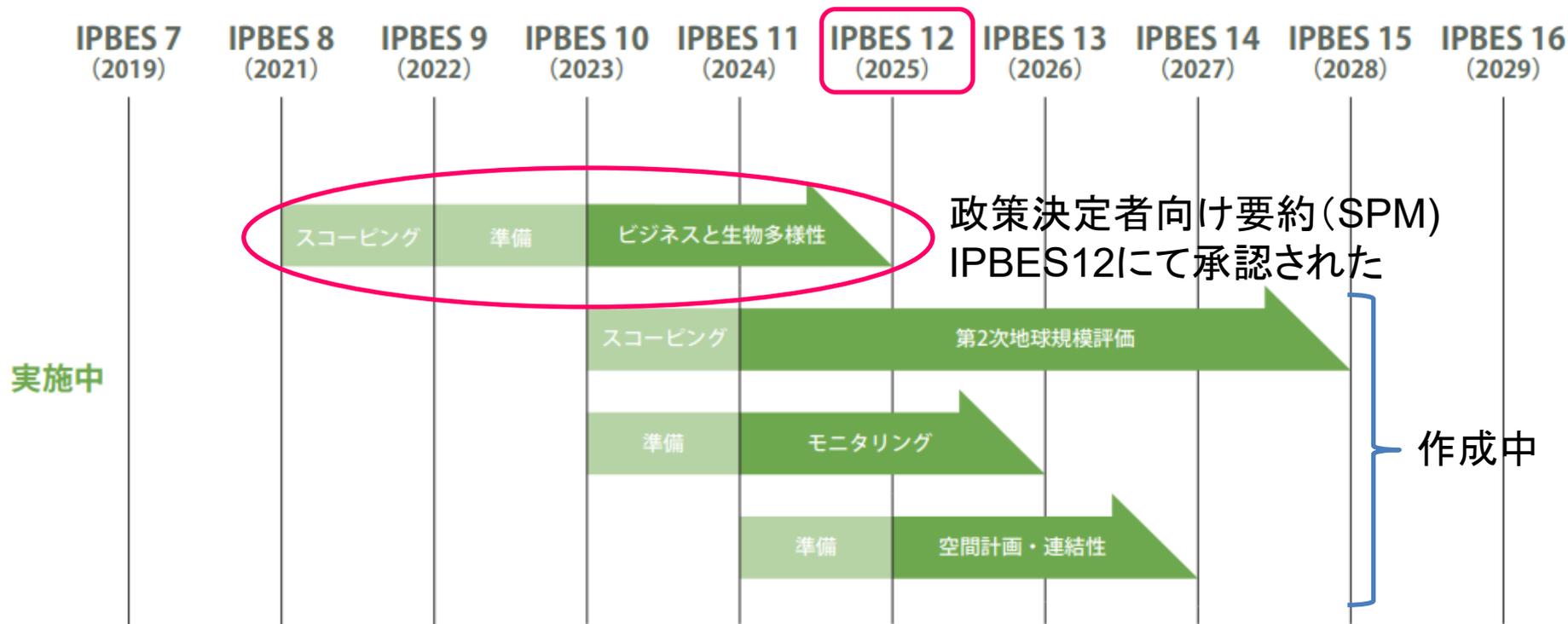
新MEP
石原広恵准教授

(参考)実施中のIPBESアセスメント(科学的評価)

実施中のIPBES アセスメント

Ongoing IPBES assessments

2025年3月現在、「生物多様性及び自然の寄与に係るビジネスの影響と依存度に関する方法論的評価 (ビジネスと生物多様性評価)」、「生物多様性と自然の寄与のモニタリングに関するテーマ別評価 (モニタリング評価)」、「生物多様性と生態系サービスに関する第2次地球規模評価 (第2次地球規模評価)」、「生物多様性を考慮した統合的空間計画と生態系の連結性に関する方法論評価 (空間計画・連結性評価)」が実施されています。



(参考) 日本からのIPBESへの貢献

日本人専門家による IPBESアセスメント執筆者 としての参画(例)

※敬称略

〈ビジネスと生物多様性評価〉

香坂 玲
統括執筆責任者(CLA)
東京大学大学院

〈モニタリング評価〉

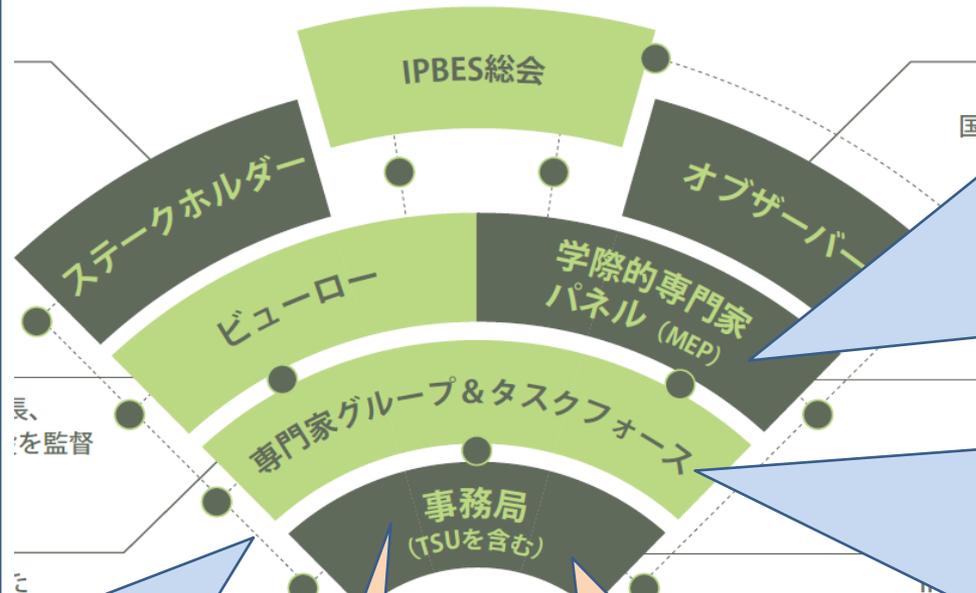
山本 哲史
主執筆者(LA)
農研機構

村岡 裕由
主執筆者(LA)
東京大学

森 章
主執筆者(LA)
東京大学

〈空間計画・連結性評価〉

主執筆者(LA)
西 麻衣子
日本大学



日本人専門家のMEP への就任(3人目)



石原 広恵
東京大学大学院准教授

※2026年2月の
総会第12回会合で
選出

環境省によるIPBES 信託基金への資金拠出

2026年: 20万ドル
IPBES12にて表明
(EU、英国、フランス、ノルウェーに次ぐ5番目)

IPBES技術支援機関(TSU)のホスト

(ホスト機関: 地球環境戦略研究機関(IGES))

- ・シナリオ・モデルタスクフォースTSU(2024年～)
- ・侵略的外来種アセスメントTSU(2019年～2024年)
- ・アジア・オセアニア地域アセスメントTSU(2015～2019年)